

●15年前の作成につき注意のこと (2020.4.20)

Win-Bes 変換 (ひだまりバージョン)

Tエディタで作成したデータを、Win-Bes データに変換する手順

ただし、動作を保障するものではありませんので、個人の責任において処理して下さい。

<2020.4.20 追加>

- (1) 表などの線、枠線の行末に注意
- (2) インデント処理はどちらでもいい

<2005.1.13 追加>

- (1) 「!」「?」「」□」(閉じカギ)のチェックに「』□」(閉じのふたえカギ)を加える。
- (2) インデント処理もすること

<2004.3.1 追加>

- (1) 情報点字使用時の注意
URL使用で2行にわたるとき、末尾に「□」「□□」などのマス開け記号が入ります。
「http」「www」などで検索し、末尾の「□」「□□」などのマス開けを消します。
- (2) 目次が一マス目から始まるとき、行末に改行マークが入らないことがあります。
行末の「□」を消して、改行マークを追加します。

「Win-BES変換について」

●T・エディタ使用時の手順

- ・該当データをWin-Bes 99形式で保存
- ・改行マークの挿入
- ・「!」「?」「」□」のチェック
- ・字下げインデントのチェック
- ・目次と本文頁の確認

※BASEでは、段落の終わりではないときに、行末に改行マークが来ることが多いので、注意する。

※行末に「!」「?」「閉じカギ」が来たとき、本来の2マス空けが1マス空けになっていることがあるので注意。

1. 該当データを Win-Bes99 形式で保存

- 1) T・エディタに該当データを読み込む。
- 2) メニューより
ファイル(F) →名前をつけて保存(A)
→「ファイルの種類(T):」の▼クリック
→Win-Bes99 を選択してクリック
→保存(S)
→OK ボタンをクリック
- 3) これを巻数分繰り返します。2 巻目からは、▼をクリックしなくても、「Win-Bes99」が表示されているのですぐ保存できます。

2. 改頁マークの挿入

- 1) Win-BES を起動する。
- 2) ファイル (F)
→開く(O)
→「ファイルの場所(I):」右横の「▼」で該当フォルダに移動
→「ファイルの種類(T):」「▼」で3番目の「BSE ファイル」選択(青色)
→該当ファイルを選択(青色)
→開く(O)
→「ページサイズを選択」で「ファイル(F)」クリック
→オープンウィンドウが小さいので、右下隅を下にドラッグして少し大きくする。
- 3) f 6 で改頁マークを入れる。挿入箇所は、
 - ①表紙の終わり(「～□としょかん」の「としょかん」のあと)
 - ②表紙裏の頁頭(P2L2 1マス目)
 - ③目次の終わり(プラス、偶数頁の頁頭)
 - ④本文の終わり※奥付の終わりは改行マーク

その際、改行マークを「DELETE」キーで削除していくと、勢いで必要な部分も消してしまうことがあるので、範囲選択(青色)をしてから消すと安心。

3. 「!」「?」「」□」(閉じカギ)のチェック

- 1) F2 キーを押し、「検索する文字列:」欄に「!」と入力し(表示は「ゑ」)、「↓」を押す。2 回目からの検索は、「SHIFT+CTRL+↓」で巻末まで検索する。変更は、本来「!□□」となるマス空けが「!□」となっている箇所を、「!□□」とする。

※この状況は行末付近でしか起こらないので、行末を注視しているとよい

※またこれは、行末に重なっていることもあり、行末記号に「□」を上書きすることもある。

※「□」の入力はスペースキーを1回押すこと。

2) 同じく「?」について、本来「?□□」となるはずが「?□」と処理されていたら、「?□□」と変更する。

3) 同じく「<」>について、本来「<□□>」となるはずが「<□>」と処理されていたら、「<□□>」と変更する。検索する際は、「<」>で検索すると大変なので「<□>」と入力して検索・変更するとよい

4. 行頭・行末インデント（場合により）

2マス下げの文章の場合、行頭インデント処理をする。

また、(助詞の)「わ」が行頭に来るときの処理をした場合は、行末インデント処理をする。

1) 行頭インデント処理

(1) 該当箇所にカーソルを移動しておく

(2) 編集(E) →インデント(I)

→行頭インデント

→「始点を指定してください」 Enter

→「終点を指定してください」

→該当終点行に「↓」キーで移動して Enter

→「禁止帯を設定する範囲を再度確認してください」

→(確認して) Enter

→「1」と表示されているのでバックスペースキーで消してから

2字下げの場合は「2」と入力して Enter

→該当箇所・行末の余計な改行マークを削除する

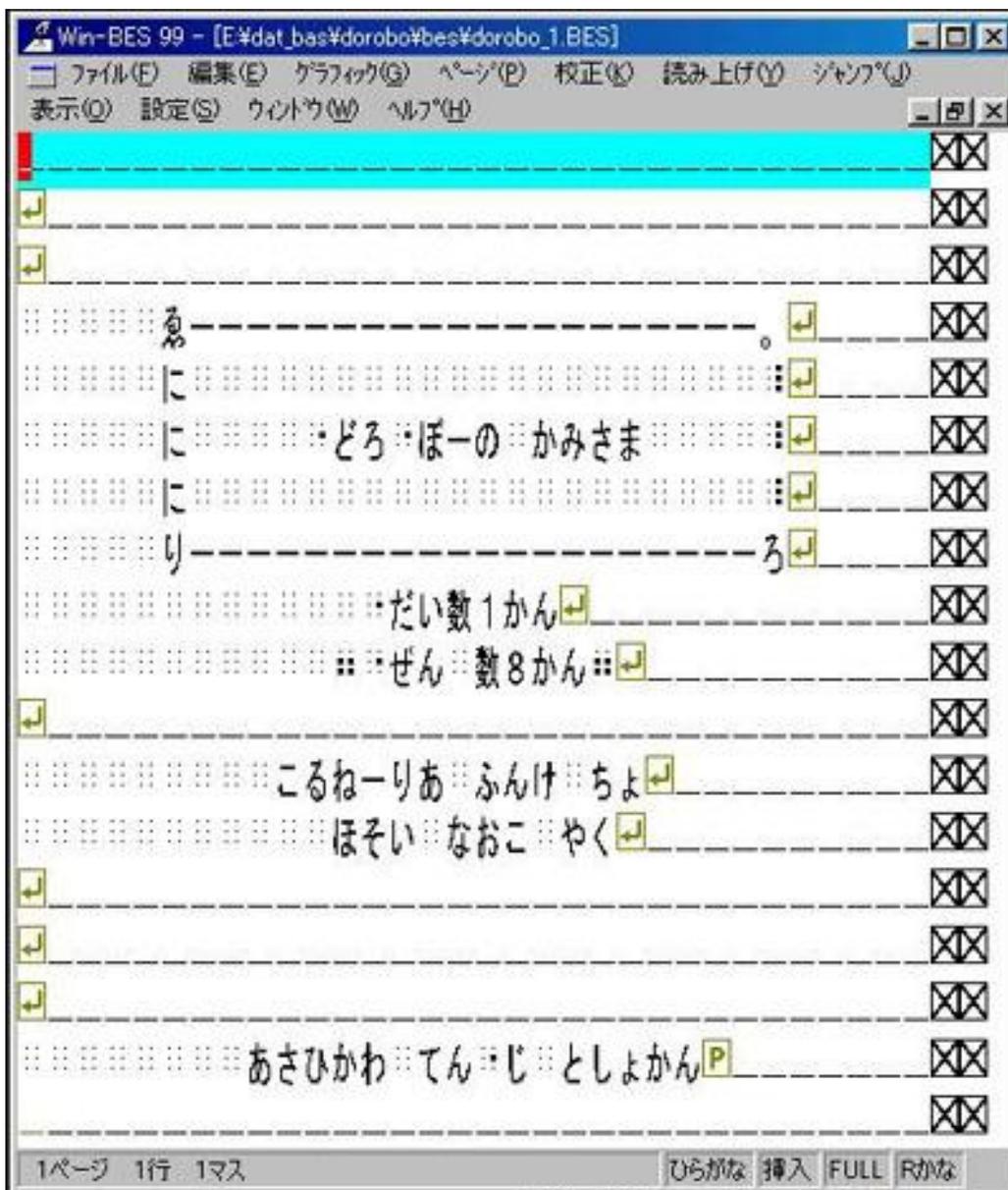
2) 行末インデント処理

上記1)の「行頭インデント」が「行末インデント」に変わるだけです。「わ」が行頭に来ないように、行末インデントを調整してください。

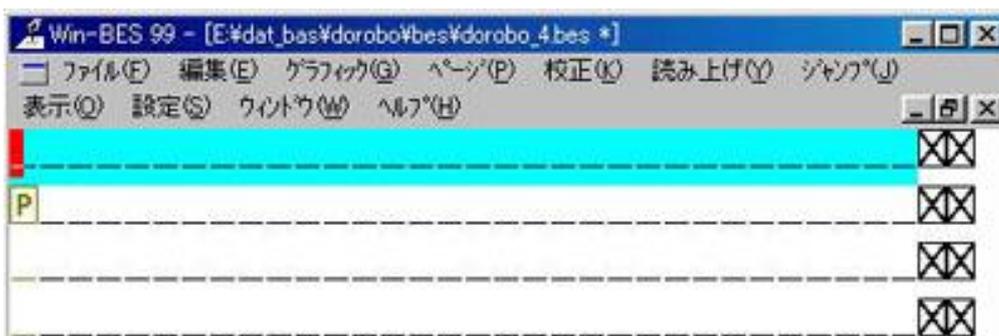
5. 目次と本文頁の確認

最後に、何らかのミスで行ずれなどを起こしていることがあるので、目次と本文頁があっているかどうか確認すると無難です。

<表紙例>



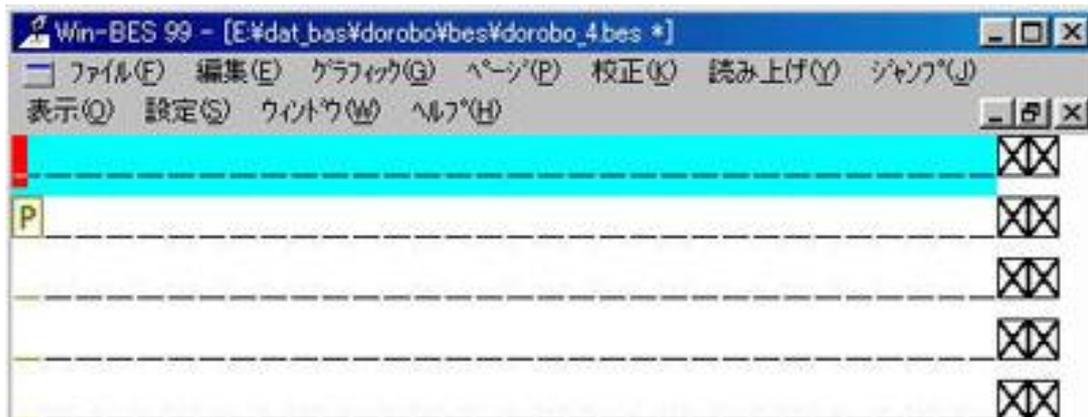
<表紙裏例>



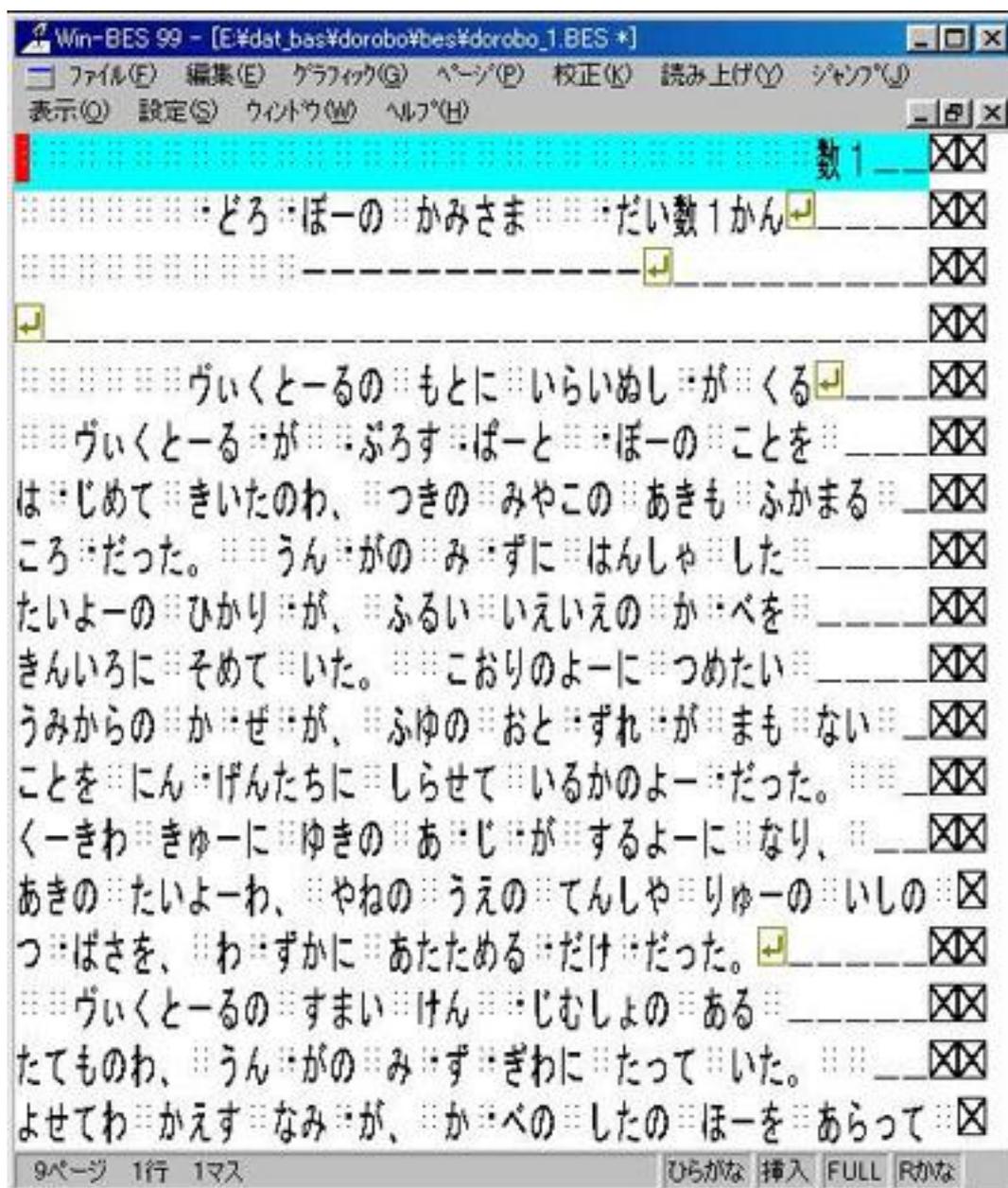
<目次例>



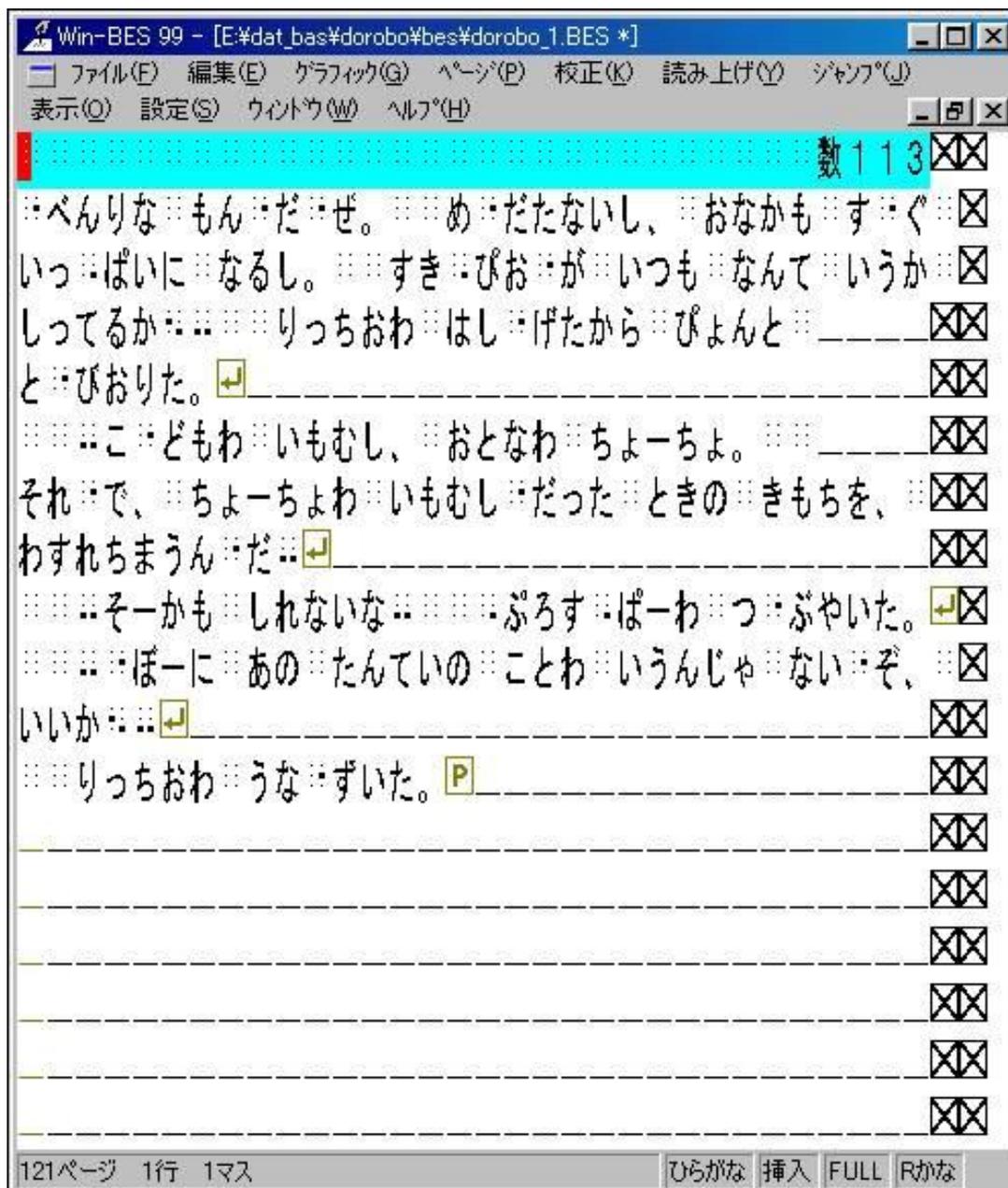
<目次裏例>



<本文例>



<本文終わり例>



<奥付終わり例>

